

芳泉中発未来へ

「生きる力」を育む教育をめざして

No. 9
令和4年2月16日
芳泉中学校
学校だより編集部

芳泉中の新制服大きく新聞記事に掲載！

先月の一月二十一日発行の学校だより「新制服エンブレムの取

材を受ける」という見出しで記事に掲載しましたが、それから間もなく、山陽新聞に大きく記事が載りましたので改めて紹介します。

来年度からの新制服を着用した芳泉中の未来を創る新入生が入学してくることに楽しみます。在校生にも新制服の注文案内を配付しています。心も身だしなみも美しい、豊かな人間性を有する生徒に育ってほしいと思います。

二年生性教育講演会多くの学びと気付きを得ました

一月二十日五・六時間目に、「ウイメンズクリニックかみむら」院長の上村茂仁先生から「自分の生き方を自分で判断するための性教育」と題して、体育館で講演をしていただきました。一年生のときにも性教育の講演を聞き、今回再び、性について学びましたが、一年経過し、理解力も高まり、「本当に大切なことを教えてくれた。」「人に言いづらいこともきちんと説明してくれて、知れてよかった。」など、多くの生徒が、大変良かった、良かったという思いをもっていました。



以下生徒の感想です。これからの人生に活かしてくれることを期待します。

- 身近で、とても大切なことなので、自分を守るため、自分で判断するために正しい知識を身に付けていきたいと思いました。
- 改めて、性について正しい知識を身に付けたいと思った。
- 自分の生き方は親や他人ではなく、自分で決め、判断することが大事だと分かった。
- とても分かりやすかった。世界にはいろんな人がいて、一人一人頑張っていることが分かった。
- 普段あまり人に聞くことができない内容や知らなかった内容がたくさんあったのでとても勉強になりました。これからは女子に優しくしたいと思います。
- 自分には関係ないと感じてしまっていたら、関係があり、自分のためになることが多く、学べてよかった。
- 自分が男だと思えば男で、自分が女だと思えば女で、性別がないと思うなら、ないでいいんだということが分かりました。
- 手をつないだりするだけでも声での同意があるんだなと思った。
- 自立とは、依存するものをたくさん増やすことだという言葉に驚きました。
- 人と付き合っていく上での大切なことや注意すること、心構えが知れてよかった。
- ネットなどである程度知っていたつもりでしたが、全然知らないことがたくさんあり、お話を聞いて良かった。男子も女子もどちらも生きていくうえで大変なんだと知ることができました。

二・三年生「がん」について学ぶ

一月三十一日六時間目に岡山大学病院の西森久和先生をお招きし、二・三年生を対象に「がんの知識とがん治療の実践」というタイトルで、放送室からリモートでの講演を実施しました。学んだこと、気づいたことを今後の自分自身に役立てるとともに、身近な大人たちに伝えられることがあれば、早速伝えて、みんなが健康な生活を送ってほしいと思います。「がん細胞」は強いです。

以下、三年生生徒の感想です。今日の話を振り返って、生活習慣を見直したい。

- ### がんを防ぐための新12か条
- 1 たばこは吸わない
 - 2 他人のたばこの煙をできるだけ避ける
 - 3 お酒はほどほどに
 - 4 バランスのとれた食生活を
 - 5 塩辛い食品は控えめに
 - 6 野菜や果物は不足にならないように
 - 7 適度に運動
 - 8 適切な体重維持
 - 9 ウイルスや細菌の予防対策と治療
 - 10 定期的ながん検診
 - 11 身体の異常に気がいたら、すぐに受診を
 - 12 正しいがん情報でがんを知ることから



「がん」の話をしっかり聴く生徒

しまう人はなるから、偏見、誤解をもたないようにという言葉が心に残った。偏見、誤解をもたないために、家族を気にかけるためにもがんについて知ることは大事だと思った。

○最近、運動があまりできていないので、少しでもやろうと思った。良い食事を心がけようと思った。

アンサンブルコンテスト中国大会 芳泉中吹奏楽部代表チーム金賞受賞



2022.2.6 朝日新聞より

二月五日(土)、山口県周南市において、全日本アンサンブルコンテスト中国大会が開催され、本校の代表チームが、見事金賞を受賞しました。まん延防止等重点措置期間ということで、部活動は原則中止ですが、上位大会につながるということで、参加する八名のみ、短い時間ではありましたが、見事金賞を受賞しました。まん延防止等重点措置期間ということで、部活動は原則中止ですが、上位大会につながるということで、参加する八名のみ、短い時間ではありましたが、見事金賞を受賞しました。まん延防止等重点措置期間ということで、部活動は原則中止ですが、上位大会につながるということで、参加する八名のみ、短い時間ではありましたが、見事金賞を受賞しました。

まだまだ活動ができず、我慢を強いられています。今だからこそできることは何か、今のうちにできることは何かをしっかりと考え、有意義に時間を使っていきたいと思えます。与えられた時間はみんな平等です。頑張ろう！芳泉中学校生徒諸君！

エンブレムのデザインは、生徒、保護者ら15人が候補を出した中から、校内の検討委員会で2年亀山こころさん(13)の作品に決定した。

スカートかズボン選択

た紺色ベースのネクタイかリボンのどちらかを選ぶ。女子生徒からズボンを着たいといった希望が寄せられたほか、他校でLGBT(性的少数者)に配慮した制服を取り入れる動きが広がっていることがきっかけになった

男女ともブレザー

新しい制服は春の新入生から着用する。紺色のブレザーと、チェック柄のズボンかスカートの組み合わせが基本。さらに、水色の線が1本入った

芳泉中 制服 春から変わります



エンブレム生徒が考案

正好東洋校長は「校訓をうまく解釈したエンブレムは生徒も愛着を持ちやすい。新入生と保護者の方は楽しみにしておいてほしい」と話す。

エンブレムを考案した亀山さん。奥が新しい制服

©山陽新聞社

岡山